

2024 年 8 月 30 日

本格的な農繁期を迎える前に 「秋の農作業安全」

まだまだ暑い日が続いていますが、収穫作業が始まる時期になりました。

国内では、農作業による死亡事故が令和 4 年は 230 件以上発生しており、そのうち「農業機械に係る事故」が 6 割以上を占め、就業者 10 万人当たりの死亡者数は過去 10 年で最も高い水準で発生しています。

本ページでは、秋の稲刈りの時期に特に多い「コンバイン」と、農業機械の中で最も使用頻度の高い「刈払機（草刈機）」の事故事例と作業する上での注意点をお伝えします。

【コンバイン】

稲刈りの時期には欠かせない「コンバイン」の事故発生原因として多いのは、「機械の転落・転倒事故」「巻き込まれ事故」などです。

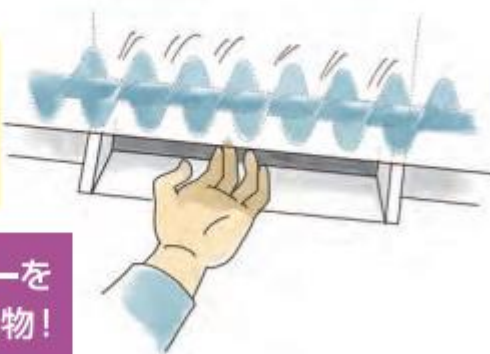
「機械の転落・転倒事故」の中での特に「後進時」に事故が多く発生する傾向があります。最近のコンバインは、大型化しており、運転席からの「死角」が拡大しております。十分余裕を持った隅刈りや、後進時には勘に頼らずに安全確認をし、確実な運転を心がけましょう。



また、「巻き込まれ」は、「エンジン非停止」が事故要因となるケースが多い状況です。
手こぎ作業中に、脱穀部・搬送部に稲わらが詰まるなどトラブルが発生した際や、点検整備・清掃中では、たとえわずかな間でもエンジンを必ず停止してから作業をしよう。

整備中の事故、確実に回転を止めて！

事例 秋作業後の清掃中、掃除口を開いて手を入れた瞬間、回転していたスロアに触れ、指を切断。



コンバインは、カバーを外すとまるごと回転物！

【刈払機（草刈機）】

刈払機の事故発生原因で多いのは、「不安定な作業姿勢」「回転刃による事故」「環境の未確認」です。

刈払機は、機械を左右に動かすため、重心が常に移動し、法面や傾斜面では特に作業姿勢が不安定となり、転倒・転落などの危険性があります。安定した姿勢で草刈りができるよう、小段を設置して足場を確保しましょう。また、スパイク靴を着用して、滑らないような対策等も必要です。そのほか、複数人で刈払作業を行う際は、傾斜上下位置での作業とならないよう注意しましょう。

傾斜面・法面で滑っての事故

傾斜面・法面に小段の設置を！

事例

最初に小段を設けた時、村の年寄りから「公の法面を傷つけるとは何事か」と怒鳴られたが、現在では、そう言った人を含め、村中の人々が小段を設けている。



傾斜面・法面に小段の設置、スパイク靴の着用

草刈の場所には、様々な障害物があります。その障害物や、地面に回転刃がぶつかり、その反動で起こる「キックバック」に注意しましょう。跳ねた刈刃が作業人や、周囲の人に当たってしまうと重大な事故につながります。

草刈作業は、刃の「9時～12時」の位置で行うのが基本ですが、不自然な姿勢での作業では、基本位置で他にぶつかっても、自分の方向に向かってくる場合もあります。

また、草刈作業は、切断した草、小石などがたくさん飛散します。あわせて回転する刃の危険から身を守るために、防護を確実にすることや、無理のない姿勢で作業することが重要です。

防護の徹底を！

回転する刃の危険から身を守る

事例 夕方4時半頃「ほんのちょっとの間」だからと、いつもは必ず着けるゴーグルをせずに草刈りを開始。開始3分後、目に何かが飛び込んだ。眼科で取り出してもらったのは、チップソーのチップだった。



草刈作業場所に、石や空き缶などのゴミ・障害物等があると、刃に当たった際に、高速で飛散し負傷事故につながる危険性があります。飛散物や巻き付けを避けるためにも、あらかじめ作業現場のゴミ・障害物は取り除いておきましょう。

作業前の環境確認を！

事例 「お盆も近づいたので、裏の草刈でもするか」と草刈りを始めた。草丈約1m。わずか4m進んだところで、突然1.5mの深さの排水溝へ落下。アキレス腱断裂。



草むらに潜む構造物(穴、溜桝)や切り株、大きな石、空き缶などを、まず点検

出典：「農作業安全の啓発資料」（農林水産省）

（https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/siryo.html#combine）を編集して作成

そのほか、農作業安全に関する情報として「農作業安全の手引き」、年々増えている農作業中の「熱中症」への啓蒙資料を、茨城県ホームページに掲載しております。

<https://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/sansin/documents/r6nousagyouannzennotebiki.pdf>

出典：茨城県 産地振興課 「農作業安全の手引き」

<https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/sansin/shushi/nettyuusyoku.html>

出典：茨城県 産地振興課 「農作業中の熱中症への啓蒙」

残暑が残る中での作業となり、注意散漫になりがちですが、
機械を正しい使用方法で使用し、安全に事故なく秋を乗り切りましょう！

困ったことがあれば、最寄りのＪＡ農機センターまでご相談ください！

https://www.zennoh.or.jp/ib/contents/make/nouki_center.html